

平成24年度病害虫発生予報第4号

平成24年7月2日
愛知 県

普通作物

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イネ	いもち病 (葉いもち)	平年並	全域	6月の発生量は平年並 7月の気温、降水量、日照時間は平年並	± ±
	紋枯病	平年並	全域	6月下旬現在発生を確認していない(平年並) 昨年の発生量は平年並 7月の気温、降水量は平年並	± ± ±
	セジロウンカ	少ない	全域	6月の発生量は少ない 予察灯における誘殺数は平年並	- ±
	ツマグロヨコバイ	平年並	全域	6月の発生量は平年並 予察灯における誘殺数は平年並	± ±
	カメムシ類	平年並	全域	畦畔における6月の発生量は平年並 予察灯における誘殺数は平年並	± ±
	フタオビコヤガ(イネアオムシ)	やや多い	全域	6月の発生量はやや多い 予察灯における誘殺数は平年並	+ ±
	イチモンジセセリ(イネツトムシ)	少ない	全域	第1世代幼虫の発生量は少ない	-

・ 防除対策

〔イネ・フタオビコヤガ(イネアオムシ)〕

多発生ほ場ではMR.ジョーカーEW、スミチオン乳剤などで防除しましょう。

・ 留意事項

イネいもち病は、6月下旬の巡回調査において葉いもちの発生を確認しました。今後の気象状況に注意し、発生を確認したら適切に防除しましょう。なお、各地の感染好適日は、本日発表の「いもち病(葉いもち)情報第2号」を参照してください。

セジロウンカとトビイロウンカは現在のところ発生を確認していません。詳細は本日発表の「ウンカ情報第1号」を参照してください。

斑点米の原因となるカメムシ類の発生量が増えてきました。日ごろから畦畔や土手などの除草を行い、カメムシ類の生息密度を下げ、水田への侵入を少なくするように努めましょう。詳しくは、本日発表の「斑点米カメムシ情報第1号」を参照してください。

果樹

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	そうか病	平年並	全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	黒点病	やや少ない	全域	孢子形成量はやや少ない 7月の降水量は平年並	- ±
	ミカンハダニ	やや少ない	全域	6月の発生量はやや少ない 7月の気温は平年並	- ±
	チャノキイロアザミウマ	やや多い	全域	粘着トラップにおける誘殺数は やや多い 6月のイヌマキにおける発生量 は平年並	+ ±
ナシ	黒星病	多い	全域	6月の発生量は多い 7月の気温、降水量は平年並	+ ±
	うどんこ病	平年並	全域	6月の発生量は平年並	±
	シンクイムシ類	平年並	全域	フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	±
	ハダニ類	平年並	全域	6月の発生量は平年並 7月の気温は平年並	± ±
モモ	せん孔細菌病	やや多い	全域	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	+ ±
	灰星病	平年並	全域	4月の花腐れの発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	ナシヒメシンクイ	平年並	全域	6月の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	+ ±
	モモハモグリガ	平年並	全域	6月の被害葉率は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	± ±
	ハダニ類	やや多い	全域	6月の発生量はやや多い 7月の気温は平年並	+ ±
ブドウ	黒とう病	平年並	全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	べと病	平年並	全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	チャノキイロアザミウマ	平年並	全域	粘着トラップにおける誘殺数は 平年並 6月のイヌマキにおける発生量 は平年並	± ±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
カキ	角斑落葉病 円星落葉病	平年並	全域	昨秋の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	うどんこ病	やや少ない	全域	6月の発生量はやや少ない	-
果樹共通	カメムシ類	やや多い	全域	予察灯およびフェロモントラップにおける誘殺数は平年並 スギ・ヒノキの球果量はやや少ない	± +

・防除対策

〔ウンシュウミカン・チャノキイロアザミウマ〕

本日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第3号」を参考に、成虫発生ピーク時期に防除しましょう。

〔ナシ・黒星病〕

6月4日発表の「平成24年度病害虫発生予察注意報第1号」を参照してください。

〔モモ・せん孔細菌病〕

多発生園では、早期落葉を防ぐために収穫終了後にアグリマイシン-100、アタックン水和剤などで防除しましょう。

〔モモ・ハダニ類〕

多発生園では、早期落葉を防ぐために収穫終了後にカネマイトフロアブル、コロマイト乳剤などで防除しましょう。

〔果樹共通・カメムシ類〕

今年は、スギ・ヒノキの球果量がやや少なく、餌を求めて果樹園へ飛来することが懸念されます。防除対策など詳しくは、6月15日発表の「平成24年度病害虫発生予察注意報第2号」を参照してください。

・留意事項

モモでは、ナシヒメシンクイによる芯折れが多いほ場があります。芯折れは見つけ次第取り除き、処分しましょう。また、次世代幼虫はモモ、ナシの果実に食入しますので、フェロモントラップにおける成虫の誘殺状況を参考に、防除適期を逃さないように防除しましょう。

ブドウベと病は、降雨が続くと急速に蔓延するおそれがあります。発生を確認したら、速やかに防除しましょう。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キク (露地)	白さび病	平年並	平坦部	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
		やや多い	中山間部	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	+ ±
	アブラムシ類	やや多い	全域	6月の発生量はやや多い 黄色水盤、黄色粘着トラップに おける誘殺数は平年並	+ ±
	アザミウマ類	平年並	全域	6月の発生量は平年並	±

・防除対策

〔キク(露地)・白さび病〕

被害葉は切除して適切に処理するとともに、トリフミン水和剤やベンレート水和剤などで防除しましょう。なお、耐性菌の発生が心配されるため、同一系統の農薬を連用せず、ローテーション散布を行いましょ。

〔キク(露地)・アブラムシ類〕

発生が見られるほ場では、アトマイヤーフロアブル、スタークル顆粒水溶剤などで防除しましょう。

参考

東海地方 1か月予報(名古屋地方気象台6月29日発表)

予想される向こう1か月の天候

期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、降水量、日照時間は、平年並の確率40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率50%です。3～4週目は、平年並の確率40%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い : 30% 平年並 : 40% 高い : 30%

〔降水量〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

〔日照時間〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

農薬危害防止運動実施中 (6月1日から8月31日まで)

今年度の重点事項は次の3つです。

- 1 農薬ラベルの十分な確認
- 2 農薬の飛散防止
- 3 農薬の盗難・紛失等の防止